



全ての組織破壊攻撃を 断固跳ね返そう！

JR東海労の除名が決定された9月12日以降、怪文書や組織破壊文書の拡散、誹謗・中傷メールが頻繁に発生しています。

新幹線地本の小林昇組合員は、「東海労を解散せよ」「(怪文書の発信元である)『東海労を良くする会』を歓迎する、正しい。組合員は支持する」などと主張し、JR東海労からの脱退を呼び掛けるための組織破壊文書を拡散しています。それと併せ、言われなき誹謗・中傷メールも配信しています。しかも、小林昇組合員は、本部副委員長に「新たな会を作る」とのメールを送りつけています。これは、JR東海労からの脱退と組織化を明らかにしたと言っても過言ではありません。

そして、新幹線地本OB会南波事務長は、その組織破壊文書と怪文書を一緒に、組合員やOB会員に郵送やメール配信しています。しかも、南波事務長は、怪文書の拡散を正当化する主張を繰り返しているのです。

また、新幹線地本が行った職場集会に参加せず、質問書を送りつけ、議論を拒否する組合員もいます。

JR総連第46回定期中央委員会、第40回定期大会、第41回臨時大会で、「心あるJR東海労組合員と固く連帯する」旨の挨拶、総括答弁、議論が行われました。この意味は、JR東海労から組合員を脱退させ、JR総連に組織化するということです。そして、組織化するために蠢く輩がいるということです。

かつて、「小黒文書」が拡散されましたが、まさにこの文書に書かれたこと＝JR東海労と別組織をつかってJR総連に加入するという主張が具現化されようとしています。私たちは、これらの組織破壊攻撃を断固許しません。これらの策動を行う人たちには、毅然とした態度でのぞみます。

JR東海労は「除名」処分に対して再審査申し立てを行う予定です。JR総連は10月30日に単組地協代表者会議を開催しますが、併せて臨時大会が急遽設定されることが予想されます。そこに向けてJR東海労からの脱退者の組織化が進められようとしているのではないかと思います。「良くする会」を名乗る怪文書が組合員の動揺と組織化のために組合員宅に送られてくると思いますが、連絡を密にし組織破壊攻撃を跳ね返していきましょう。

報告・連絡・相談を強化しよう！